

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第4区分

【発行日】令和6年7月30日(2024.7.30)

【国際公開番号】WO2023/085306

【出願番号】特願2023-559664(P2023-559664)

【国際特許分類】

C 2 2 C 9/00(2006.01)

C 2 2 F 1/08(2006.01)

H 0 1 B 1/02(2006.01)

H 0 1 B 5/02(2006.01)

C 2 2 F 1/00(2006.01)

10

【F I】

C 2 2 C 9/00

C 2 2 F 1/08 C

H 0 1 B 1/02 A

H 0 1 B 5/02 Z

C 2 2 F 1/00 6 0 2

C 2 2 F 1/00 6 2 5

C 2 2 F 1/00 6 0 4

C 2 2 F 1/00 6 3 0 A

C 2 2 F 1/00 6 3 0 Z

C 2 2 F 1/00 6 6 1 A

C 2 2 F 1/00 6 8 1

C 2 2 F 1/00 6 9 1 B

C 2 2 F 1/00 6 9 1 C

C 2 2 F 1/00 6 9 4 A

20

【手続補正書】

【提出日】令和5年6月19日(2023.6.19)

30

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

1. 0 ~ 6. 0 質量%のAgを含有し、残部がCuおよび不可避不純物からなる化学組成を有するCu - Ag系合金線であって、

前記Cu - Ag系合金線は、母相中に、前記Cu - Ag系合金線の略長手方向に連なって線状に分布してなる複数のAg相を有し、

40

該Ag相のAg原子濃度が0. 5 ~ 50. 0 %の範囲であり、

前記Cu - Ag系合金線の長手方向に対して直交する横断面で測定したときの平均径が0. 5 ~ 20. 0 nmの範囲であるAg相が、前記Cu - Ag系合金線の横断面における10000 nm<sup>2</sup>の測定領域に存在する個数が、10 ~ 400本の範囲である、Cu - Ag系合金線。

【請求項2】

前記Cu - Ag系合金線は、前記横断面で測定した、隣接する前記Ag相同士の間隔のうち、最も狭い最短間隔の平均値が、3 ~ 30 nmの範囲である、請求項1に記載のCu - Ag系合金線。

50

## 【請求項 3】

前記 Cu - Ag 系合金線は、前記化学組成が Sn、Mg、Zn、In、Ni、Co、Zr および Cr からなる群から選ばれる少なくとも 1 種の成分を、それぞれ 0.05 ~ 0.30 質量% の範囲でさらに含有する、請求項 1 又は 2 に記載の Cu - Ag 系合金線。

## 【請求項 4】

前記 Cu - Ag 系合金線は、0.01 mm ~ 0.08 mm の直径を有する丸線である、請求項 1 又は 2 に記載の Cu - Ag 系合金線。

## 【請求項 5】

前記 Cu - Ag 系合金線は、0.02 ~ 0.32 mm の幅と 0.002 ~ 0.040 mm の厚さとを有する、横断面が略矩形形状のリボン線である、請求項 1 又は 2 に記載の Cu - Ag 系合金線。 10

20

30

40

50